

みやと民報

発行責任者

日本共産党美郷支部

こうじ文喜

美郷町議会3月定例会報告の続き

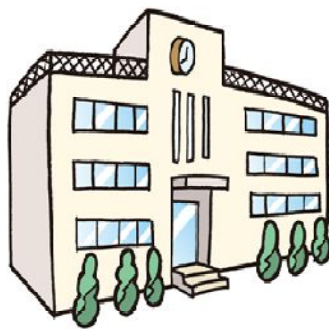
こうじ文喜議員の一般質問

一、北郷小学校校舎は建築後相当年経過しており、Is値も町内で一番深刻な状態を示しており、早急に耐震化工事を実施する必要がある。

教育長答弁 北郷小中学校から施設一体型小中一貫教育の希望があつたので、2013年度より基本設計を行い早急に工事を実施する。

北郷小学校校舎は昭和44年〜45年に建設され約10年前の耐震診断でIs値が0.43と結果が出ています。調査が10年前ですからもう少し強度は落ちてきている可能性があります。

町内小学校校舎の耐震化問題について、12月臨時会での教育長答弁は西郷中との比較で「耐震性は北郷小学校校舎が、若干劣っているが同等と認識」として、西郷地区の工事も請も含め総合的に捉えてと西郷中と「なった」との答弁でした。そして12月議会には西郷中学校



校舎の耐震化工事関係の予算が提案・可決されました。

この時点では、経過からみて北郷小学校校舎の耐震化計画は白紙であつたと思われまます。

それが一転して答弁にあるように「施設一体型小中一貫教育

の希望があつた」ことを根拠に、新年度予算に北郷小中学校一貫校基本設計委託料 400万円が提案されました。

ここには「こどもたちの安心・安全」よりも教育委員会の「小中一貫教育」優先の立場があると指摘しなければなりません。

こうじ文喜議員は「結果として校舎耐震化工事が具体化して良



二、「子育てするなら美郷町で」の立場で、保育料や住宅使用料を軽減し子育てしやすい環境整備と、これに並行して町外からの子育て世代の移住促進を行うことは学級複式化を防ぐなど人口対策の一助になると考える。

町長答弁 保育料は現行で、住宅使用料の軽減は検討する。

美郷町の人口減少に歯止めがかかりません。合併時2006年1月1日の6843名から本年1月1日で5941名と902名減つています。年平均で129名程度になります。それから出生と死亡の関係では、2009年度35名生まれて128名死亡、死亡に対

かつたと考えています。しかし小中一貫教育の希望がなかったらこんな迅速な対応が出来るのかという疑問も残ります。学校がこどもたちの安心・安全を最優先するような場所となるよう今後も努力を続けたい」と話しています。



する出生の比率が27%。10年度32名生まれて132名死亡 比率が24%。11年度29名生まれて143名死亡、比率が2

どんなこと(サラ金・生活問題・交通事故など)でもお気軽にご相談下さい。
毎月弁護士を迎えての法律相談(延岡・日向)も行っています。

新しい視点 展望しめす
しんぶん 赤旗
日刊紙 ●月3,400円
日曜版 ●月 800円

裏へ

生活相談

町内 児童・生徒数の実情

2012年4月1日 現在					
階層	南郷区	西郷区	北郷区	黒木小	合計
中3	11	22	14		47
中2	18	22	15		55
中1	17	14	11		42
小6	21	22	13	1	57
小5	16	15	11	4	46
小4	19	15	8	2	44
小3	9	22	11	3	45
小2	9	14	6	2	31
小1	10	17	4	1	32
6歳児	9	7	10		26
5歳児	7	13	7		27
4歳児	12	15	17		44
3歳児	18	11	9		38
2歳児	12	10	15		37

教育委員会資料より

セットで家計の負担は、ずいぶん減って、多くの子育て世代に歓迎されています。そこで「子育てするなら美郷町で」として、町内の子育て世代はもとより、町外にも広くアピールできるような内容になるよう充実策として「保育料」「住宅使用料」の軽減を提案したものです。

0%。このようにどんどん下がってきております。本当に子供はこの町の宝です。子供達の人数も、年代によっては変化も見られますが（左表）、人口が減る中で子供の数が減っていくことは避けがたい状況にあります。こういった状況に歯止めをかけるために人口対策は一刻の猶

予もないといえます。子育て時代は色々とお費がかさむ訳ですが、今年度の子育て3点



まず保育料は第2子以降の減免です。既に一部の自治体で第2子以降は保育料が無料となるような措置もなされています。また住宅使用料については例えば子供一人で1000円減額、2人で3000円減額など子供多い世帯ほど使用料が下げていく制度の提案です。



三、美郷トンネル開通後は人工透析患者の送迎を行うなど患者の負担軽減を図ることが大切だと考える。

町長答弁 開通後は送迎対応など検討する必要がある

美郷トンネルも今月17日には「貫通式」が行われます。後は内部の工事と取付道路の整備が残っていると聞いています。

いよいよ、美郷トンネル完成間近となってきました。完成すれば町内の行き来が頻繁となり、町民の一体化が益々進むものと期待されます。

交通の便が良くなれば、透析患者の皆さんなど、日向地区の医療機関を利用されている方も西郷病院での治療が可能となります。そこで、透析患者の皆さんの負

こうし文喜議員は「人口対策はこの町を守るためにも積極的に取り組まなければならぬ課題だと考えており、再三この立場から質問等を行ってきました。今後子育てが楽しくできるような環境作りに努めたい」と話しています。

今月の法律相談

5月28日（火）日向
5月31日（金）延岡
弁護士さんが相談にのります。30分間無料。事前予約が必要です。小路（下記電話）まで連絡下さい。



担を少しでも軽くできるようにと対応を求めたものです。

この記事に対する質問・意見・要望等がありましたら右記へ連絡ください

電話・fax 59-0605
携帯 090-2089-1422
ブログ [小路文喜](#) [検索](#)

「みさと民報」(本紙)ご希望の方はメールアドレスを連絡ください。